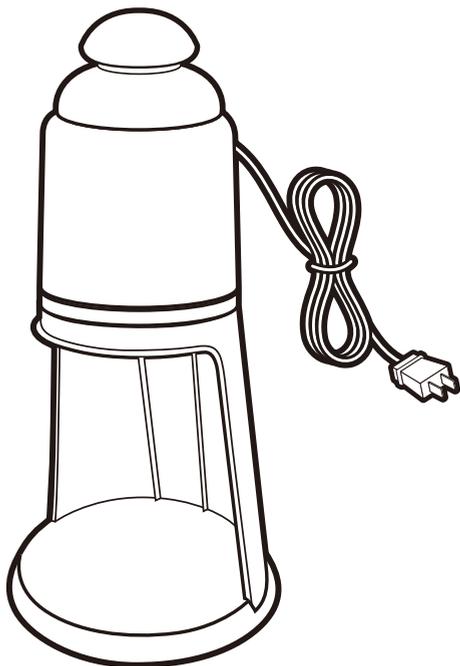


取扱説明書・保証書

ハピコオリ 電動かき氷器

DIN-20



もくじ

仕様	表紙
安全上のご注意・警告	1～3
各部の名称・組み立てかた	4
正しい使いかた	5～7
お手入れのしかた	8
保存のしかた・こんなときは	9
部品のご購入について・お問い合わせ	10
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

仕 様

品名	ハピコオリ 電動かき氷器	質 量	(約)800g
型番	DIN-20	操作スイッチ	マイクロスイッチ内蔵・プッシュON式
定格電圧	AC 100V	付 属 品	取扱説明書・保証書×1、 ふた付き製氷カップ(Sサイズ)×2、 ブラシ×1
定格周波数	50Hz/60Hz		
定格消費電力	15W		
商品サイズ	(約)幅16.5×奥行16.5×高さ32.5(cm)		
コードの長さ	(約)1.3m		
回転数	・50Hz (約)73rpm ・60Hz (約)88rpm		
定格時間	5分		

製氷カップは、こちらからご購入いただけます



DOSHISHA Marché
ONLINE STORE

ドウシシャマルシェ

<https://www.doshisha-marche.jp/>

携帯からはこちら

●仕様等は改善・改良の為、予告なく変更する事があります。●この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

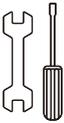
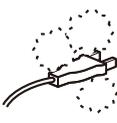
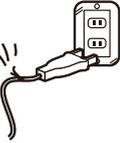
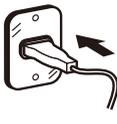
 警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

安全上のご注意

警告

 分解禁止	 分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店またはドウシヤお客様相談室(P.10をご参照ください)にご相談ください。	 ホコリを取る	 電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
 使用禁止	 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。	 指示	 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・火災の原因になります。
 禁止	 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	 異常時(こげ臭い、発煙など)は、電源プラグをコンセントから抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。		

警告

 <p>プラグを抜く</p> <p>使用後、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電や火災の原因になることがあります。</p>	 <p>禁止</p> <p>子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・やけど・感電の原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>100V</p> <p>交流100V以外で使わない。 火災・感電の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。</p>

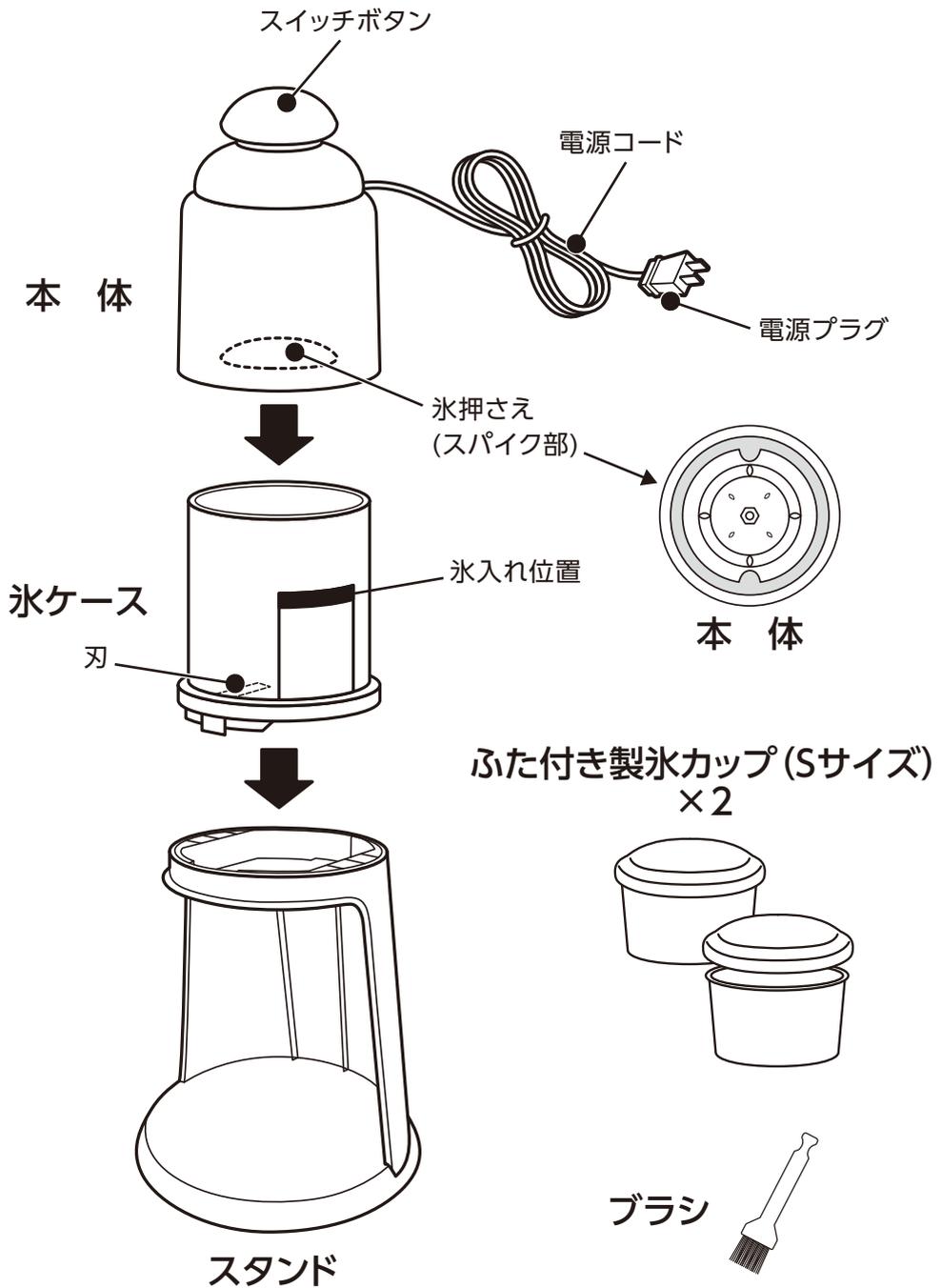
注意

 <p>禁止</p> <p>本製品を業務用として使用しない。 故障の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になることがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>本体やスタンドを落としたり、製品に強い衝撃を与えない。 感電・けが・故障・破損の原因になります。</p>	 <p>指示</p> <p>電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。 感電・ショートの原因になることがあります。</p>
 <p>禁止</p> <p>運転中にふたを開けたり容器の中、及び氷ケースの中へ指・スプーン・はし等氷以外のものを入れないでください。 けがの原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>氷以外のものは入れない。 故障・けがの原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>タコ足配線はしない。 火災の原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>運転中に移動させない。 故障・けがの原因になります。</p>
 <p>禁止</p> <p>テーブルの端などに置かない。 落下して、故障やけがをする原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>変形や破損など、異常があるときは使用しない。 感電の原因になります。</p>
 <p>指示</p> <p>平らなテーブルなどに置いて使用する。 落下して、故障やけがをする原因になります。</p>	 <p>禁止</p> <p>本製品は食器洗浄機・食器用乾燥機を使用しないこと。 故障や変形の原因になります。</p>

⚠ 注意

 禁止	次のような場所では使用しない。 ●水や油のかかりやすいところ。 ●湿気の多いところ。 ●火気の近く。 ●直接日光が長時間当たるところ。 ショート・感電のおそれ、変形・故障の原因になります。	 禁止	本体部など、製品の上部のみを持って持ち運びしない。 製品が落下するなどして、けがや破損の原因になります。持ち運ぶときは、電源プラグを抜き、製品の脚部と本体を持って注意して行うこと。
 禁止	 本体は5分以上の連続使用はしない。 モーター故障の原因となります。	 禁止	 スパイク部にさわらない。 けがの原因になります。
 禁止	 丸洗いしたり、本体部に水を入れたりしない。 ショート・感電の原因になります。	 禁止	 刃は鋭利なので、直接手をふれない。 けがの原因になります。
 禁止	 製氷カップは加熱したり、電子レンジの中に入れてたりしない。 破裂・変形の原因になります。	 禁止	 氷ケースとスタンドは40℃以上のお湯で洗わない。 変形・変色の原因になります。
 禁止	住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉・金属たわしなどは使わない。 変色や変形の原因になります。		

各部の名称・組み立てかた



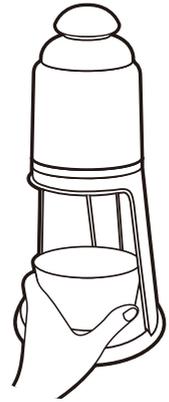
各部の名称・組み立てかた

正しい使いかた



注意

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。またご使用前に洗浄される場合は、水を使わずに乾いた布で本体・本体の氷押さえ、氷ケースを拭いてください。



1. スタンドの上に、かき氷を受ける器を置きます。
◆ 器はスタンドの中央に正しく置いてください。

2. 氷を氷ケースにセットします。
◆ 製氷カップの氷の平らな面を下にして氷ケースに入れます。
氷を取り出すときは、製氷カップ裏側から水をかけると取り出しやすくなります。
お願い: 氷を製氷カップから取り出すとき、たたきつけないでください。破損の恐れがあります。
◆ 冷蔵庫専用もしくは市販の製氷皿でつくるバラ氷も使用できます。
バラ氷は氷ケース横の「氷入れ位置」ラインの下まで入れてください。
それ以上入ると動きません。

《ご注意》市販されているかたい氷は使用しないでください。

バラ氷も
使えます



製氷カップの氷

もようがある面



平らな面

氷ケース



氷入れ位置

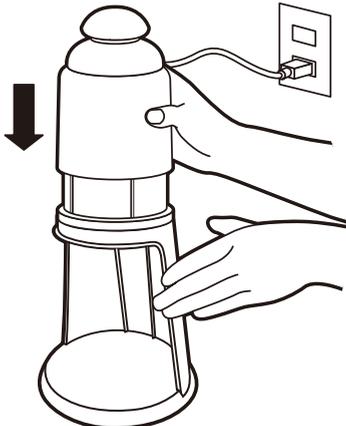
※これ以上入ると動きません。

氷の 作り方

製氷カップに水を約8分目ぐらい入れて、カップふたをきちんと閉めて正しく冷凍庫で凍らせてください。

《ご注意》製氷カップに水いっぱいに入れて冷凍すると、製氷カップがふくれたり、カップふたが飛んだり、カップが破損したりすることがありますので水量にご注意ください。

3. 本体を氷ケースにかぶせ、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



《ご注意》

- 持ち運ぶ際はスタンドごと持ち上げてください。
 - めれた手で直接プラグを持つと危険ですので、必ず乾いた手で持ってください。
 - 本体を氷ケースにかぶせる際、無理に押し込まないでください。抜けなくなる場合があります。
- ※ 本体をかぶせる向きは自由ですが、電源コードがからまないように注意してください。

正しい使いかた

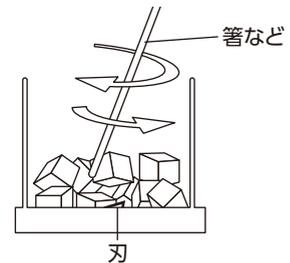
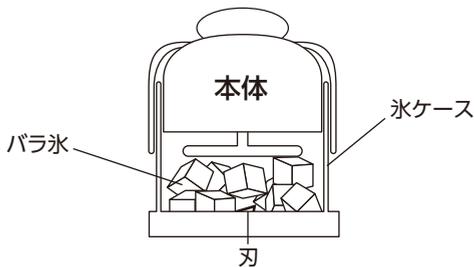
4. スイッチボタンを手でゆっくりと押し、本体を押し下げながら氷を削ってください。



- ◆ スイッチボタンから手を離すとモーターはストップします。
- ◆ 本体は氷を削っている間、徐々に下がってスタンド面に密着するまで氷を削ることができます。

- ※ 強めに押すと氷が引っかかりやすくなります。
- ※ 氷が引っかかり削れなくなった場合は、一度本体を持ち上げて再度差し込んでください。
- ※ バラ氷を使用した場合、付属品の製氷カップで作った氷より本体の揺れが大きくなります。
- ※ 氷ケース内に氷が入っていないと動きません。

バラ氷をお使いの時には、途中で止まることがありますが故障ではありません。
氷ケースの中で、バラ氷がロックしてしまうことが原因です。



対処方法:箸などの細長いものを使い、氷ケースの中でロックされているバラ氷をかき回し、氷ケースの中のバラ氷の位置を変えたくうえで、ご使用ください。



注意

- ①決して中に指を入れてバラ氷をかき回さないでください。
- ②氷がないときは動作しません。
- ③本体を無理に押さないでください。
- ④付属の製氷カップでのご使用をお勧めします。

5. 本体をはずし、氷ケースの氷を捨てます。

※ 構造上、氷ケース内に氷が残ります。

続けて氷を削るときは、氷ケース内に残っている氷は、必ず捨ててください。

残ったまま新しい氷を入れるとカラ回りして削れません。



《ご注意》

- 使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用後は、本体に付着した水が垂れることがありますので、ふきん等の上において水切りをしてください。

正しい使いかた

《ご注意》

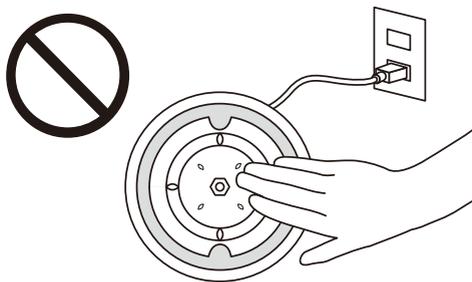
- 連続使用は5分以内にしてください。
- スイッチボタンを押してもモーターが作動しない場合は、一度本体をはずして、氷ケース内の氷の量を確認してください。「氷入れ位置」ラインより氷の量が多いと作動しません。
- 本体を氷ケースからはずした場合、氷押さえに絶対に手をふれないでください。
- 氷が氷ケースに入っていない場合もモーターは作動しません。
- 本体が停止したら、本体をはずし、氷ケース内の残った氷を取り除いてください。スパイク部と刃の接触を防ぐ構造になっているため、氷ケース内に氷が残ります。
- 本体をはずした際、水が垂れることがありますので、ふきん等の上に置いてください。
- 再度、別の氷を削る場合は氷ケースから残った氷を取り除いてから、新しい氷を入れてください。

《保護スイッチ機能について》

本体を氷ケースからはずしてあるときや、氷の量が多いときは、スイッチが入らないよう保護スイッチ機能を設けてあります。無理に氷押さえや、スイッチボタンを押したり、たたいたりしないでください。スイッチ破損の原因になります。

《ご注意》

スパイク部に直接手をふれないでください。氷ケース内に氷がない場合は作動しません。



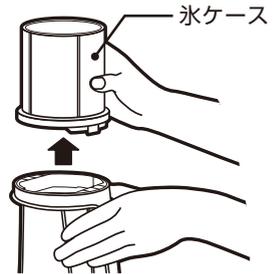
お手入れのしかた

いつも清潔にお使いいただくために使用後はお手入れを十分に行ってください。

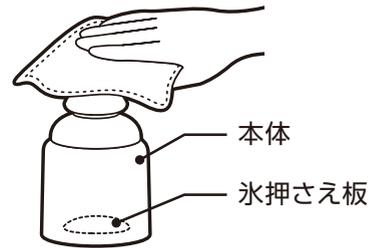
1. 氷ケースから本体をはずしてください。



2. スタンドから氷ケースをはずしてください。 ◆ スタンドと氷ケースは軽く引っ張ってはずしてください。



3. 本体、氷押さえを布で拭いてください。 ◆ 完全に乾いた状態で保存してください。



《ご注意》

- お子様には絶対に、ふれさせないようにしてください。
- 布は乾いた布を使ってください。
- お手入れには、住宅用洗剤・アルコール・シンナー・ベンジン・磨き粉・金属たわしなどは使わないでください。変色、変形の原因になります。
- 落ちない汚れは布に中性洗剤をしめらせてよくしぼってから、軽くふき取ってください。

4. 氷ケースのお手入れ。ご注意:刃には直接手でふれないでください。

- ◆ 氷ケースの刃には直接手をふれないよう付属のブラシを使用し水洗いをして、ふきん等の上に置いて完全に乾かしてください。サビがでる恐れがありますのでご注意ください。
- ◆ 完全に乾かした後、刃に食用油を塗って保存してください。

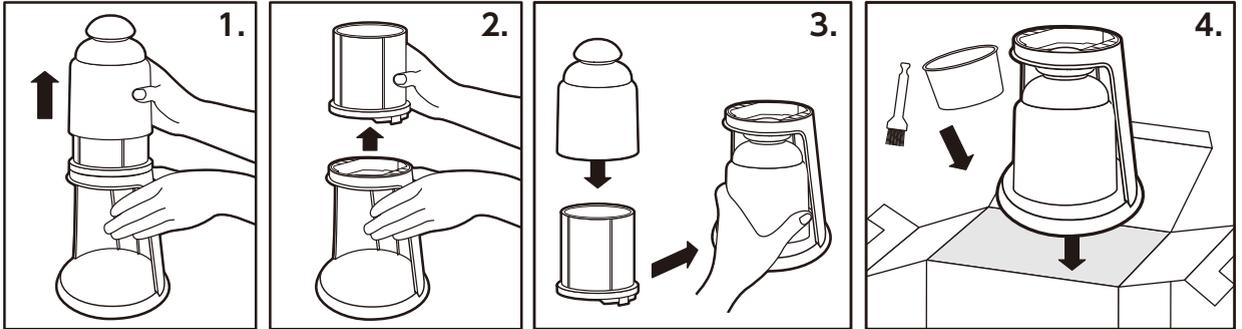


《ご注意》

- 刃の固定ネジは出荷時に的確な高さに調整を行っていますので、絶対にゆるめたり、刃の出し入れをしないでください。

保存のしかた

次のような方法により、製品の高さが低くなり、保存しやすくなります。
長期間ご使用にならない場合は、サビが発生しますので、完全に乾かしてから箱に入れて保存してください。



1. 本体を氷ケースからはずします。
2. 氷ケースをスタンドからはずします。
3. 氷ケースに本体をかぶせ、スタンドの下へくぐらせて入れます。
4. 箱に入れる場合は本体とスタンドをそのまま箱に入れ、製氷カップは本体前面のすき間にお入れください。この状態で箱の折りしろを利用して固定し、収納してください。

保存のしかた: こんなときは

こんなときは

症状	主な原因	処置
スイッチボタンを押しても動かない	●電源プラグが正しく差し込まれていますか。	●確実に差し込んでください。
	●氷ケースと本体が正しく組み合わされていますか。	●正しく組み合わせてください。
	●氷押さえが氷に押しつけられていますか。	●スイッチボタンを強めに押し、本体を押し上げてください。
	●氷が氷ケースに入っていますか。	●氷を氷ケースに入れてください。
	●氷の量が多すぎませんか。	●氷の量を減らしてください。
氷が削れない	●氷ケース内に削れず残った氷が入っていませんか。	●残った氷を取り除いてください。
	●氷が氷ケース内でひっかかっていますか。	●箸などでかき回してください。
	●氷押さえが空回りしていませんか。	●一度本体をはずし、再度差し込んでください。